



インターンシップ・海外留学



大学3年次にインターンシップとして官公庁や建設会社で実務経験を積む学生が多いことが特長の一つです。大学で学んだ専門知識の実務への応用を体感することや就職時のミスマッチを防ぐなどキャリア形成を図る重要な機会となっています。(2017年度官公庁28名、民間20名) また、近年は海外へ留学する学生も増えています。



求める人物像



本コースでは強い学習意欲を有し、グローバルな視野と独創的な発想で、災害に強く、自然環境と調和した魅力あふれる“まちづくり”について関心があり、将来、地域や国内外で活躍する意欲があることを受け入れ方針とし、次の項目に該当する人物を求めています。

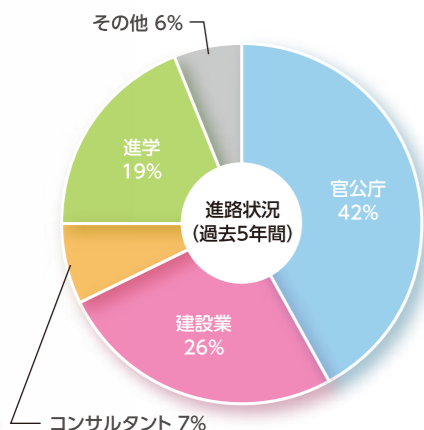
- 工学を学ぶ意欲と目的意識を有し、高等学校で学んだ基礎学力を身につけた人
- 修得した知識等を活用するための思考力、判断力、表現力を身につけている人
- 様々な諸課題を与えられた条件下で最良の結果を得るために主体的に努力できる人



卒業後の進路



毎年100社以上の優良企業から求人が寄せられ、2018年度は官公庁22名、県内民間5名、県外民間8名、進学8名とほぼ全員が希望通りの進路となっています。



卒業生の声

内閣府沖縄総合事務局
南部国道事務所
山城 慶さん (平成27年度卒)

私は大学卒業後、技官として沖縄総合事務局へ入局し、道路事業に携わっています。道路は我々の生活を支える社会基盤の中でも最も基礎となるものであり、交通はもちろん、災害時の避難路、水道・ガス・上下水道の収納スペース等様々な役割を持っています。道路事業関係の公務員の主務は、常に健全な道路を利用してもらえる様に、地域環境に即した設計と、施工・維持管理における関係機関や地域の方との適切な協議及び調整です。事業を適切に進めるためには、多くの経験と知識が必要となります。

社会基盤デザインコースではそれらの基本となる知識と、大学で修学する様々な事象のメカニズムを経験することのできる設備と機会があります。先生方も学び姿勢に真摯に答えてくれますので、中身の濃い学生生活を送ることができるかと思えます。社会に役立つ仕事がしたい、メカニズムを解明したい等の多様な要望に対応できる懐の広い分野ですので、本コースで学んでみてはいかがでしょうか。

主な進路先

官公庁	沖縄県庁、長崎県庁、内閣府沖縄総合事務局、国土交通省、経済産業省、那覇市役所など
県内民間	大城組、金秀鉄工、國場組、ホープ設計、中央建設コンサルタント、西日本高速道路総合サービス沖縄など
県外民間	大林組、五洋建設、大成建設、大日本コンサルタント、西日本旅客鉄道、西日本高速道路、横河ブリッジなど
進学	琉球大学大学院、東京工業大学大学院、横浜国立大学大学院、長崎大学大学院など

琉球大学 工学部 工学科社会基盤デザインコース

University of the Ryukyus Civil Engineering Program



琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース

<http://civil.tec.u-ryukyu.ac.jp/>

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

コース事務室 TEL:098-895-8640 FAX:098-895-8677

※入試に関する詳細は募集要項をご確認下さい。



